

# 知財部門業務の効率化・高度化を短期間で実現するためのAI活用 比較分析レポート

## エグゼクティブサマリ

知財部門で「すぐに効果が出やすい」領域は、(a) 定型性が高く、入力（資料）が既に電子化されている、(b) 人の判断は必要だが、下準備・下書き・整理が支配的、(c) 手戻り・属人化が大きい業務です。日本の実例として、島津製作所<sup>1</sup>は知財業務で生成AIを内製活用した結果、2025年度に外部コスト年間8,000万円削減、発明届出工数50%削減、他社特許スクリーニングの手作業90%削減などを公表しています。<sup>2</sup> この水準は「ツール導入だけ」ではなく、**暗黙知の形式知化（プロンプト化）+業務設計+ガバナンス**をセットにしたときに現実味が増します。<sup>2</sup>

本レポートの結論は、単体ツール選定よりも「役割分担」を明確にした**ハイブリッド運用（人+AI+特化ツール+社内RAG）**が、3か月での効果創出と、6~12か月での高度化の両立に最も適します（後述ロードマップ参照）。根拠は以下です。

- **知財特化ツールは“検索・分類・マップ”の精度と再現性が強い**一方、周辺の社内フロー（資料収集、案件管理、テンプレ適用、議事録・報告書化、翻訳、社内承認）を自動化しないと、ボトルネックが残しやすい。たとえばPatSnapは特許新規性検索AIのベンチマーク結果（Top-100内での検出率81%、再現率36%）を公開し、汎用LLMより有利と主張しています。<sup>3</sup> 一方で、社内で「この結果をどう意思決定に落とすか」のワークフロー設計が必要です。
- **コーディング特化AIは“知財業務の周辺自動化”で即効性が高い**。Claude Codeはコードベース横断で変更・テスト実行まで行うエージェント型のコーディング支援として提供され、社内のスクリプト自動化・連携開発に向きます。<sup>4</sup> ただし実行権限を伴うため、権限設計・監査が前提です（後述）。
- **AIエージェント（Manus等）は“資料収集～整形～報告書化”の横串で効く**。ManusはREST APIでタスク起動・ファイル管理・結果受領を可能にし、ワークフローへ組み込みやすい設計です。<sup>5</sup> さらにSlack連携等の既存ツール統合で「現場に置く」ことができます。<sup>6</sup>

推奨の導入戦略（要点）は次の通りです。

- **短期（3か月）：**
  - 1) 入力禁止情報・監査・レビュー責任を明確化（社内ガイドライン整備は最優先）<sup>7</sup>
  - 2) 「発明届出～一次評価」「先行技術調査の下ごしらえ」「OA/拒絶理由通知の要約・論点抽出」「契約レビューの定型チェック」「定型報告書の自動生成」をP0（最優先）に設定
  - 3) 既存テンプレ・チェックリストを整備してAIへ“型”を渡す（プロンプトとテンプレ資産化）
- **中期（6~12か月）：**
  - 1) パテントマップ／ランドスケープの再現性向上（分類器・タクソノミー整備）
  - 2) 社内データをRAGで安全に参照し、説明責任（根拠提示）を担保（生成物の“出典付与”）
- **長期（1~3年）：**
  - 1) 部門横断（研究・法務・事業）で「知財意思決定OS」を構築（案件・証拠・判断ログを一体化）
  - 2) 重要領域のみ、社内データでの高度化（ドメインRAG、必要に応じて追加学習）へ拡張

規模別の「勝ち筋」は以下です（概算は後述）。

- **スモール（50-500名）**：高額なエンタープライズ一括導入より、Eureka（サブスク）+Ambercite（補完検索）+Claude Code（自動化）+最小RAG（社内規程・雛形・過去案件の検索）で、3か月ROIを狙う。<sup>8</sup>
- **中堅（500-2000名）**：分類・分析の母集団作成をAI分類で高速化し、意思決定の“再現性”を上げる。国内事例として、日本ガイシ<sup>9</sup>はLexisNexis Classification活用事例で再現率97%、適合率91%の環境を1日で構築したとされています。<sup>10</sup>
- **大手（2000名以上）**：多拠点・多部門を前提に、SSO・監査・データ主権・契約条項（学習利用、保持、越境）を満たす“統制されたAI基盤”へ。<sup>11</sup>

## 評価の前提と定量モデル

本レポートは「特許出願・権利化中心の企業知財部門」を想定し、規模別に以下の“典型値”を置いて比較します（未指定事項はすべて仮定）。

- スモール（50-500名）：知財担当 2~6名、出願 20~80件/年（国内+外国）
- 中堅（500-2000名）：知財担当 6~20名、出願 80~300件/年
- 大手（2000名以上）：知財担当 20~60名、出願 300~1000件/年

## 効果指標（KPI）設計（実務向け）

短期で成果が見えるKPIは「時間」「品質」「コスト」「リスク」の4系統に分け、**業務単位**で測ります。

- 時間：1案件あたり処理時間（例：発明届出1件、先行技術調査1テーマ、OA1通、契約1本）
- 品質：レビュー差し戻し率、重要論点の漏れ（チェックリスト充足率）、検索での“取りこぼし検知”
- コスト：外注費（調査・明細書・翻訳）／人件費換算（削減時間×標準単価）
- リスク：入力禁止情報の逸脱件数、監査ログ欠損、生成物の根拠不明率

## 定量化の考え方（本レポート内の試算ルール）

ツール導入効果は、原則として次の式で推計します。

**時間短縮率 = (現状工数 - {AI処理 + 人レビュー + 手直し}) / 現状工数**

ただし、ベンダーや事例の数値は「そのまま自社へ移植できない」ため、以下の扱いを統一します。

- **事例公表（企業公式・政府資料）**：強い根拠として採用
- 例：島津製作所の工数・外部コスト削減実績（公式発表）<sup>2</sup>
- **ベンダー公開ベンチマーク**：比較材料として採用し、過信しない（再現条件の差に注意）
- 例：PatSnap PatentBenchのTop-100検出率/再現率<sup>3</sup>
- **ベンダー事例・マーケティング**：上振れしやすい。実装前提（データ整備・テンプレ整備）の注記を必須
- 例：JETRO記事内で紹介されているPatSnapの「生産性75%向上」等は、引用として扱い、導入条件を明示する。<sup>12</sup>

## コンプライアンス前提（“導入可否”を左右する条件）

生成AIは政府レベルでも「利活用促進とリスク管理を表裏一体で進める」設計が強調されており、調達・利活用時に既存ガイドライン・統一基準群等を参照する枠組みが示されています。<sup>13</sup>  
したがって知財部門では、少なくとも次を満たすことを前提化します。

- データ分類（秘/社外秘/公開）と入力禁止ルール
- 生成物の帰属・利用条件（社内外提出可否、二次利用、著作権・秘密保持）
- 説明責任：重要判断は「人が最終承認」し、根拠（参照資料）を残す
- 監査：誰が何を入力し、何が出力され、どこに保存したかのログ確保
- データ主権：越境処理・保持期間・学習利用の扱い（後述：Claude/Manusで差が出る）

## ツール/アプローチ別の比較

### ツール別 詳細比較表（機能・効果・コスト・難易度・リスク）

ツール/アプローチ	主な対象業務 (例示)	主機能・連携 (要点)	期待効果 (定量の 目安)	コスト（公開 情報/目安)	実装難易 度・運用負 荷	法務・ コンプ ラ上の 主な論 点
Manus (AIエー ジェン ト)	文書/メール整理、調査→報告書、定型文生成、社内QA補助、会議要約、(補助的に)先行技術調査の“準備”	REST APIでワークフロー統合（タスク起動・ファイル・結果受領） <sup>5</sup> / SaaS連携で「オーケストレーション層」化 <sup>14</sup> / Slack連携（スレッド文脈を読み取り共同作業） <sup>15</sup>	(短期)資料収集・整理・報告書化の工数圧縮が中心。価格体系はクレジット制で、複雑タスクほど変動が大きい点に注意。 <sup>16</sup>	Pro \$20/月(4,000 credits~)、Pro \$40/月(8,000 credits~)、Team \$20/席/月~(年契約割引あり) <sup>17</sup>	中：テンプレ/プロンプト整備で成果が出やすいが、クレジット管理と業務設計が要る <sup>18</sup>	買収後の供給者・法域変動リスク(Meta傘下) <sup>19</sup> / 機密入力管理(Teamは学習Opt-out等) <sup>20</sup>

ツール/アプローチ	主な対象業務 (例示)	主機能・連携 (要点)	期待効果 (定量的目安)	コスト (公開情報/目安)	実装難易度・運用負荷	法務・コンプラ上の主な論点
Claude Code (コーディング特化AI)	スクリプト自動化 (期限管理・ドキュメント更新・OA要約テンプレ生成)、周辺業務の連携 (SharePoint/Box→IPMS、検索ログ収集)、データ整形、社内RAG実装補助	コードベース読解→複数ファイル変更→テスト実行までの“エージェント型”開発支援 <sup>4</sup> / 既定はread-onlyで、編集・コマンド実行は許可要求 <sup>21</sup>	(短期) 人手で回している「転記・整形・通知・レポート生成」の自動化で20~50%の工数削減が狙いやすい (本レポート試算、後述)。セキュアに使用すれば“内製の加速器”。	Team 標準席 \$20/席/月 (年契約) or \$25 (月契約) <sup>22</sup> / APIはトークン課金 (例: Sonnet 4.6 Input \$3/MTokなど) <sup>23</sup>	中~高: 権限管理・CI/サンドボックス整備が鍵。データはTLSで暗号化されるが「保存時は暗号化なし」と明記されているため、扱うデータ範囲の設計が重要。 <sup>24</sup>	実行権限=情報漏えい/破壊的コマンドのリスク (許可・隔離・監査が必須) <sup>25</sup> / 学習利用: 商用は原則学習に使わないが、個人プランは設定次第で学習対象になり得る点に注意 <sup>26</sup>

ツール/アプローチ	主な対象業務 (例示)	主機能・連携 (要点)	期待効果 (定量の目安)	コスト (公開情報/目安)	実装難易度・運用負荷	法務・コンプラ上の主な論点
PatSnap (知財特化)	先行技術調査、FTO/侵害の一次スクリーニング、特許マップ/ランドスケープ、R&Dトレンド、レポートニング	新規性検索AIのベンチマークを公開 (Top-100 検出率 81%、再現率36%等) <sup>3</sup> /WIPO 資料では Top-100精度78%等の説明あり <sup>27</sup> /日本語圏では JETROが同社のAI活用主張・事例を紹介 <sup>12</sup>	(短期) 調査の“初動”短縮+漏れ低減が中心。ベンチマーク値は自社条件で再検証が必要。 <sup>28</sup>	Enterprise価格は公開されないとの第三者レビューあり <sup>29</sup> /一方、Eurekaはサブスク価格を公開 (後述) <sup>30</sup>	中：データ整備よりも“使い方の型”が重要。中堅以上はポートフォリオ分類・KPI統一まで進めないと価値が頭打ち。	検索結果の説明責任 (なぜその先行技術か) を社内プロセスに組み込む必要。越境・保持・契約条項の確認 (特に大手)。 <sup>31</sup>
Cipher (知財分析・分類； LexisNexis系)	特許マップ作成、技術領域分類、競合分析、ポートフォリオ分析、母集団作成 (ノイズ除去)	機械学習で特許データを分類し、戦略意思決定を支援するオンライン分類プラットフォーム <sup>32</sup> /教師あり学習で自社分類器 (カスタムタクソミー) を構築可能 <sup>32</sup> /国内事例：日本ガイシで再現率97%、適合率91%の環境を1日で構築と紹介 <sup>10</sup>	(短期～中期) ランドスケープの母集団作成・更新を高速化し、分析の再現性を上げる (特に“ノイズ除去”に効く)。 <sup>33</sup>	公開価格は限定的で、基本は要見積 (本レポートではTCOモデルで概算)。	中：分類器の教師データ作成・評価 (再現率/適合率) を回せる体制が必要。導入後は“分類器の保守”が運用負荷。 <sup>33</sup>	分類ロジックの透明性 (説明可能性) と更新管理 (誰が教師データを変えたか) の監査。

ツール/アプローチ	主な対象業務 (例示)	主機能・連携 (要点)	期待効果 (定量の 目安)	コスト (公開 情報/目安)	実装難易 度・運用負 荷	法務・ コンプ ラ上の 主な論 点
Ambercite (知財調 査補完； 引用ネッ トワーク 系)	先行技術調査 (補完検 索)、無効資 料探索、ライ センス候補探 索、侵害調査 の一次探索	「類似特許 を秒でラン キング」 し、キー ワード/分 類/セマン ティック検 索で漏れや すい特許を 補完する設 計 <sup>34</sup> / 175M+の特 許引用デー タを用いる 主張 <sup>35</sup> ／“最大46% 品質向上”は 独立研究と して紹介 (ただし公 開先は同社 ブログで、 一次データ は限定) <sup>36</sup>	(短期) 既存検索 の“ダブル チェック”とし て導入し やすく、 取りこぼ し低減に 寄与し得 る。 <sup>37</sup>	価格ガイド： 年\$1,000～ \$2,000/ユー ザーのレンジ を提示 <sup>38</sup> (正式は要見 積) <sup>39</sup>	低～中：単 体導入は軽 いが、効果 を出すには 「既存DB検 索＋ Ambercite」 の標準手順 化が必要。 <sup>37</sup>	“引用 ネット ワーク 由来の バイア ス”と、 社内の 調査完 了基準 (いつ 検索を 止める か)の 合意形 成。

ツール/アプローチ	主な対象業務 (例示)	主機能・連携 (要点)	期待効果 (定量の 目安)	コスト (公開 情報/目安)	実装難易 度・運用負 荷	法務・ コンプ ラ上の 主な論 点
PatentPal (特許ド ラフト自 動生成)	明細書の機械 的記述 (図面 説明、要約、 サマリー)、 クレーム→記 述への展開、 図の生成 (フ ローチャート 等)	クレーム入 力→明細書 と図面をワ ンクリック 生成し、 Word/Visio/ PowerPoint へ出力 <sup>40</sup> ／生成対象 (フロー チャート、 ブロック 図、図面詳 細説明、要 約等) <sup>40</sup> ／フレーズ をプロファ イル化して 自社文体へ 寄せられる <sup>40</sup>	(短期) 「機械的 ライティ ング」を 圧縮し、 弁理士・ 担当 者が“技術 的本質と クレーム 設計”へ 時間を戻 す用途。 時間短縮 率は業務 設計次第 (本レ ポートで は20～ 40%を標 準レンジ として試 算、根拠 は後述の 外部記 事/ベン ダー事例 参照)。 <sup>41</sup>	公式サイトは 公開価格を明 示していない <sup>42</sup> / 第三者 記事等では Premium \$50/月程度の 記載がある (要検証) <sup>43</sup>	低：単体導 入しやすい が、最大効 果には「明 細書テン プレ・チェ ック観点」の 整備が必 要。	生成物 の責任 は人に 残る。 ハルシ ネー ション 対策と して、 引用・ 符号・ 実施例 整合の QC工程 が必 須。

ツール/アプローチ	主な対象業務 (例示)	主機能・連携 (要点)	期待効果 (定量の目安)	コスト (公開情報/目安)	実装難易度・運用負荷	法務・コンプラ上の主な論点
自社内カスタムAI (RAG/必要に応じ学習)	社内規程・過去案件・拒絶対応ナレッジの検索+草案生成、案件横断の説明可能なQA、知財意思決定ログ化	社内データを“参照して答える”RAGで、秘情報を外に出さずに根拠付き生成を狙う(概念設計)。成功例として島津製作所は暗黙知をプロンプト化し、複数業務で大幅削減を公表。 2	(中期以降)“当社のやり方”の再現性が上がり、属人化・教育コスト・外注費に効く。島津の公表値では外注費削減・工数削減が顕著。 2	初期はPoCでも数百万円～、本番化は数千万円規模になり得る(本レポート試算：人月×単価、後述)。	高：データ整備、権限、MLOps、監査、継続改善が必要。	データ主権・説明責任は満たしやす一方、誤答責任は社内に帰属。ガバナンス不全だと“野良AI”化する。 44
ハイブリッド運用 (人+AI、外部ツール併用)	全業務 (出願・調査・戦略・契約・侵害・マップ・生成・翻訳)	役割分担：特化ツールで検索/分類、汎用AIで草案/要約、コーディングAIで連携自動化、社内RAGで根拠付与	“短期の効率化”と“中長期の高度化”を両立しやすい。島津のようにプロンプト資産化+内製AI化で成果が出る例もある。 2	ツール費+内製/外注の組合せ。規模に応じ最適化(後述)。	中：全体設計が要るが、部分導入から拡張できる。	生成物の最終責任・監査・入力制御を“共通基盤”として揃える必要。 45

## ベンダー/事例の要点 (国内優先で抜粋)

- PatSnap：JETRO <sup>46</sup> 記事では、同社AIアシスタント「Hiro」によりIPタスク生産性75%向上、R&Dの無駄25%削減といった主張、および特許発見を通じた作業時間短縮例(480分→235分)が紹介されています(引用情報として扱い、導入条件の検証が必要)。<sup>12</sup>  
また国内では、株式会社キャンパスクリエイト <sup>47</sup> がアカデミア向け販売代理店契約を締結した旨がPRで公表されています。<sup>48</sup>
- Cipher (LexisNexis Classification)：日本ガイシの事例として、ノイズ特許の手作業除去課題に対し、再現率97%、適合率91%の分析環境を1日で構築したプロセスが紹介されています。<sup>10</sup>

- ・自社内カスタムAI（国内事例）：島津製作所は「暗黙知をプロンプトへ変換（形式知化）」し、外注費削減（2025年度8,000万円）、発明届出工数50%削減、他社特許スクリーニング手作業90%削減を公表しています。<sup>2</sup>
- ・Manus：2025年末にMeta参加（買収）を公式ブログで表明し、シンガポール拠点でサブスク提供を継続するとしています。<sup>49</sup> 取引規模等はReuters<sup>50</sup> が\$2B～\$3Bと報道しています。<sup>51</sup>

## 業務別の推奨アプローチと定量効果推定

ここでは、知財部門の主要業務を「短期で効く順（P0→P2）」に並べ、推奨アプローチと効果を“控えめに”推定します。数値は「公表事例・ベンチマーク・ベンダー説明」から読み取れる範囲を根拠にしつつ、最終的には各社PoCで実測すべきです。<sup>44</sup>

### 業務別：推奨と効果（目安）

業務	推奨アプローチ（ツール組合せ）	期待効果（時間/品質/リスク）	根拠・前提（主要ソースと仮定）
発明届出の受付・一次評価（出願判断の前処理）	①社内テンプレ+プロンプト資産化（ハイブリッド）②社内RAGで過去類似案件・拒絶傾向を参照③（補助）Manusで要約・論点整理	時間：30～60%短縮（“50%削減”が達成例として存在）／品質：判断観点の平準化／リスク：判断ログ化で説明可能性↑	島津製作所は発明届出工数50%削減を公表。 <sup>2</sup> ただし、暗黙知の形式知化（プロンプト化）と業務改革込みの成果。 <sup>2</sup>
先行技術調査（新規性・進歩性の“初動”）	①PatSnap（新規性検索AI）で初動を短縮②Amberciteで補完検索（取りこぼし低減）③結果のレビュー報告書をテンプレ自動生成	時間：初動20～50%短縮（案件によっては更に大）／品質：Top-N候補の精度・漏れ検知／リスク：調査完了基準を明文化	PatSnapはTop-100内での検出率81%、再現率36%などのベンチマーク値を提示。 <sup>3</sup> Amberciteは補完利用で“最大46%品質向上”を独立研究として紹介（一次データは限定公開）。 <sup>36</sup>
侵害調査・FTO（Freedom to Operate）一次スクリーニング	①PatSnap EurekaのFTO Search等の専用エージェントを入口に②社内で“除外条件・重要クレーム”のチェックリスト化③必要に応じ外部弁護士へエスカレーション	時間：一次スクリーニング30～70%短縮（本レポート試算）／品質：チェックリストで均質化／リスク：判断の二重化（AI+人）	EurekaはFTO Search（2 credits/task）などの検索エージェントを明示。 <sup>30</sup> FTOは法的リスクが高いため、人の最終判断を前提（本レポート提案）。
出願書類のドラフト（明細書・要約・図面説明・従属項展開）	①PatentPalでクレーム→明細書/図面説明の機械的部分を自動生成②テンプレ/スタイルを先に整備③弁理士が“要件・実施例・効果”を最終編集	時間：20～40%短縮を標準レンジ（成熟後）／品質：抜け・表記揺れ低減（プロフェイル運用）	PatentPalはワンクリック生成とWord/Visio/PPT出力を明示。 <sup>40</sup> 時間短縮レンジ（20～40%）は外部記事・レビューで多く言及される水準として採用。 <sup>41</sup>

業務	推奨アプローチ（ツール 組合せ）	期待効果（時間/品 質/リスク）	根拠・前提（主要ソースと仮 定）
審査対応（拒絶理由通知/OA対応）の要約・論点整理・骨子作成	①社内RAGで引用文献・過去応答を参照しつつ要約と論点抽出 ②テンプレートに沿って“反論骨子”を生成 ③最終は弁理士/担当者が法的妥当性を確認	時間：20～50%短縮（本レポート試算）／品質：論点漏れ低減（チェックリスト）／リスク：ハルシネーション対策で根拠提示が必須	PatSnap EurekaはOffice Action Response機能を明示（ドラフト/プロセス支援の位置づけ）。 ③ 重要判断は人が持ち、根拠のログ化は政府ガイドラインの趣旨とも整合。 ④④
特許マップ作成・ランドスケープ（定期更新/経営報告）	①Cipher系（AI分類）で母集団・分類を高速化 ②KPI定義を固定し、更新を自動化 ③経営向けPPTはテンプレートで自動生成	時間：母集団作成（ノイズ除去）で大幅短縮／品質：再現率・適合率で管理／リスク：分類器の更新管理	LexisNexis Classificationは教師ありで分類器構築が可能。 ③② 日本ガイシ事例では再現率97%、適合率91%の環境を1日で構築と紹介。 ⑩⑩
契約レビュー（共同研究、ライセンス、AI関連契約等）	①契約AIで定型チェック（例：LegalForce） ②特許庁のモデル契約（AI編）等を“標準雛形”として整備 ③非定型論点は法務/弁護士へ	時間：定型レビューの短縮+品質平準化（数値は社内実測推奨）／リスク：条項の抜け・AI利用条件の見落とし低減	特許庁 ⑤② はOIモデル契約書ver2.2に「AI編」を含め、NDA・PoC・共同研究等の資料を公開。 ⑤③ LegalOn Technologies ⑤④ のLegalForceは知財関連契約類型（共同研究・共同出願・特許ライセンス等）へのレビュー対応を公表。 ⑤⑤
翻訳（明細書・OA・契約）	①用語集/対訳表を整備し、機械翻訳+人レビューを標準化 ②社内RAGで用語・過去表現を参照（表現統一）	時間：一次翻訳の高速化／品質：用語統一で事故低減／リスク：秘情報の外部送信制御	翻訳はデータ主権・秘匿の影響が大きく、政府ガイドラインに沿ったリスク判断と調達仕様化が必要。 ⑤⑥

## 規模別：おすすめ構成と概算コスト（試算）

為替・単価・契約形態で大きく変動するため、ここでは「公開価格+保守的な仮定」に限定して提示します（換算：1 USD=150円は便宜上の仮定）。公開価格がないものは「レンジ提示」または「要見積」とし、3か月PoCで実測→調整する前提です。 ④④

### スモール（50-500名）推奨：低コストで“型”を作り、外注費の一部を内製へ戻す

- ・推奨スタック：Claude Team（～5席）+ Manus Pro（2～3席）+ PatSnap Eureka（検索/ドラフトいづれか）+ Ambercite（1～2席）+ 最小RAG（社内雛形・過去案件検索）
- ・年額（ライセンス概算）
- ・Claude Team：\$20/席/月（年契約）×5席=\$1,200/席/年 → **\$6,000/年（約90万円）** ②②
- ・Manus：Pro \$20/月（4,000 credits～）を3席想定 → **\$720/年（約11万円）** ①⑦
- ・PatSnap Eureka：Pro（Patent Drafting）\$200/月 または Pro（Patent Searching）\$400/月（どちらを優先するかで選択） ③⑩
- ・Ambercite：年\$1,000～\$2,000/ユーザーのガイドレンジ ×2席 → **\$2,000～\$4,000/年（約30～60万円）** ③⑧

- 初期導入（内製/外注）の目安：2～4人月（テンプレ整備＋RAG最小構築＋ログ設計）＝300～800万円（本レポート試算）

### 中堅（500-2000名）推奨：分類・分析の再現性を上げて“意思決定の質”を可視化

- 推奨スタック：Claude Team（10～30席）＋Manus Team（必要に応じ）＋Cipher系（分類）＋PatSnap（検索/分析）＋社内RAG（拒絶対応・技術領域別のナレッジ）
- 目安：分類器構築と運用（教師データ）に専任または兼務の“責任者”を置く。  
日本ガイシの事例では、ノイズ除去課題に対し再現率97%、適合率91%の分析環境を1日で構築したプロセスが紹介されています（再現条件は要確認）。<sup>10</sup>
- 年額（ライセンス概算の一例）
- Claude Team：\$20/席/月×15席=\$3,600/月 → \$43,200/年（約648万円）<sup>22</sup>
- Cipher/PatSnap：要見積が中心（3か月PoCで利用範囲を絞って見積最適化）

### 大手（2000名以上）推奨：統制（SSO・監査・保持・越境）を満たす“企業基盤”化

- 推奨スタック：エンタープライズ契約（保持/監査/SSO）＋社内RAG基盤＋分類/マップの定期運用＋部門横断ポータル
- 重要：個人プラン混在は、学習利用設定や保持条件が統一されず事故要因になりやすい。商用では「入力/出力を学習に使わない」方針が既定で示される一方、個人プランでは設定次第で学習利用され得るため、契約形態の統一が重要です。<sup>26</sup>
- 年額：数千万円～（ツール群＋データ基盤＋運用体制）。ただし島津製作所の例のように、外注費削減が大きい場合は回収が速いケースがあり得ます。<sup>2</sup>

## 導入ロードマップ

導入優先度は「P0（3か月で効果を出す）→P1（6～12か月で再現性を上げる）→P2（1～3年で高度化）」で設計します。政府ガイドラインでも、利活用促進とリスク管理を一体で進める枠組みが示されているため、P0にガバナンスを含めるのが実務上の最短経路です。<sup>13</sup>

### ガント風タイムライン（Mermaid）

```

gantt
title 知財部門AI導入ロードマップ
dateFormat YYYY-MM-DD
axisFormat %m/%d

section 短期
ガバナンス（入力禁止・監査・レビュー責任の明文化） :a1, 2026-04-15, 30d
テンプレ/チェックリスト整備（発明届出・調査報告・OA骨子・契約） :a2, 2026-04-20, 45d
クイックウィンPoC（発明届出一次評価/先行技術調査初動/契約定型チェック） :a3, 2026-05-01,
60d
自動化スクリプト（通知・転記・レポート生成） :a4, 2026-05-10, 60d

section 中期
社内RAG（規程・雛形・過去案件参照、根拠提示） :b1, 2026-07-01, 120d
ランドスケープ基盤（分類器/タクソノミー、定期更新） :b2, 2026-08-01, 180d
SSO/権限/監査ログ統合（全社IT統制へ） :b3, 2026-09-01, 180d

```

section 長期

知財意思決定OS化（案件・証拠・判断ログの統合） :c1, 2027-01-01, 365d

高度化（領域別RAG、必要に応じ追加学習） :c2, 2027-06-01, 540d

## 優先度の実務判断（P0/P1/P2）

- ・P0（3か月）：発明届出一次評価、調査初動、OA要約・論点抽出、契約の定型チェック、定型報告書生成
- ・P1（6～12か月）：分類器と母集団管理、ランドスケープの定期化、社内RAG（根拠提示）、監査ログ統合
- ・P2（1～3年）：知財意思決定基盤（部門横断）、高度化（領域別モデル/ルール/プロンプト資産の継続改善）

## 推奨ワークフローと実装手順

### 推奨ワークフロー（Mermaidフローチャート）

flowchart TD

```
A[入力: 発明届出/OA/契約/調査依頼] --> B{情報区分判定\n(公開/社外秘/秘)}
B -->|秘を含む| C[統制環境へ\n(社内RAG/限定ツール)]
B -->|公開/社外秘| D[外部ツールも併用可\n(検索/分析/生成)]
C --> E[AI処理\n要約・論点抽出・検索式作成・ドラフト骨子]
D --> E
E --> F{根拠付与\n参照資料リンク/引用/ログ}
F --> G[人レビュー\nチェックリストで検証]
G --> H{判断}
H -->|出願/応答/差戻| I[成果物化\n(テンプレ適用・翻訳・提出)]
H -->|保留/却下| J[判断ログ保存\n次回参照]
I --> J
```

### 実装手順（失敗しにくい順序）

1. 利用ルールを先に確定（2～4週間）
2. 入力禁止情報・保存先・外部共有可否・レビュー責任を明文化。政府の調達・利活用ガイドライン案では、利活用促進とリスク管理を一体で進め、既存ガイドラインや統一基準群等を参照する枠組みが示されています。<sup>56</sup>
3. 生成物の扱い（「そのまま提出禁止」「根拠必須」「最終責任は人」）を部門合意にする。
4. テンプレ・チェックリスト整備（並行して着手）
5. 出願ドラフト、調査報告書、OA骨子、契約レビュー観点など、AIへ渡す“型”を整備する。特許庁のOIモデル契約書（AI編）など公的雛形は、契約レビューの標準化に活用しやすい。<sup>53</sup>
6. P0業務でA/Bテスト（6～8週間）

7. 例：発明届出30件、先行技術調査10件、OA10通、契約10本を対象に「従来手順」と「AI併用手順」で工数・差戻し率を比較。島津製作所のように工数50%削減が起こり得る領域は、まずここで再現性を確認します。 2

## 8. 連携自動化（8～12週間）

9. 案件管理への転記、期限通知、レポート出力など、周辺作業を自動化する。Claude Codeはread-onlyを既定にしつつ、必要時のみ編集/実行許可を与える設計で、権限統制を組み込みやすい。 25

## 10. 中期：社内RAGと分類基盤へ拡張（6～12か月）

11. ランドスケープは分類器・タクソノミーが核心。LexisNexis Classificationは教師あり学習で分類器を構築する枠組みを提供し、国内事例も示されているため、中堅以上で優先度が高い。 57

## 主要参考出典

本レポートの中核的な根拠（一次情報・公的情報・国内事例優先）は以下です。

- デジタル庁 58 「行政の進化と革新のための生成AIの調達・利活用に係るガイドライン」改定案（利活用促進とリスク管理、既存ガイドライン参照の枠組み） 56
- 経済産業省 59 会議資料（生成AIと知的財産権の取組、侵害リスク懸念等の論点提示） 60
- 島津製作所 1 公式発表：Genzo AI開発・社内活用の成果（外部コスト8,000万円削減、発明届出50%削減、スクリーニング90%削減） 2
- WIPO 61 資料：特許ランドスケープの基本（クレームと先行技術調査範囲の関係等） 62
- PatSnap：PatentBench（新規性検索AIのベンチマーク指標） 3 / WIPO掲載資料（Top-100精度等の説明） 27 / Eureka価格ページ（検索/FTO/ドラフト機能と価格） 30
- Cipher（LexisNexis Classification）：製品ページ（ML分類、分類器構築） 32 / 国内事例（日本ガイシ：再現率97%、適合率91%、1日構築の紹介） 10
- Ambercite：製品説明（引用ネットワーク分析、175M+引用データ、ランキング） 34 / 価格ガイド（年\$1,000～\$2,000/ユーザー提示） 38
- Manus：API（REST APIでタスク統合） 5 / 価格（Pro/Team、学習Opt-out等） 17 / セキュリティ（SOC2/ISO等の揭示、データ削除） 63 / Meta参加の公式表明 49
- Anthropic 64 Claude Code：製品ページ（エージェント型コーディング） 65 / セキュリティ（read-only既定、許可要求） 21 / データ利用（TLS暗号化等） 24 / 学習利用ポリシー（商用は既定で学習不要、個人は設定依存） 26

---

1 7 11 13 31 44 45 56 58 59 [https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/80174015-f73b-4d98-811e-c601c26c0ba5/b5da8c01/20260310\\_meeting\\_ai-advisory\\_%20outline\\_04.pdf](https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/80174015-f73b-4d98-811e-c601c26c0ba5/b5da8c01/20260310_meeting_ai-advisory_%20outline_04.pdf)

[https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic\\_page/field\\_ref\\_resources/80174015-f73b-4d98-811e-c601c26c0ba5/b5da8c01/20260310\\_meeting\\_ai-advisory\\_%20outline\\_04.pdf](https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/80174015-f73b-4d98-811e-c601c26c0ba5/b5da8c01/20260310_meeting_ai-advisory_%20outline_04.pdf)

2 <https://www.shimadzu.co.jp/news/2026/acmnk57uqb3579ay.html>

<https://www.shimadzu.co.jp/news/2026/acmnk57uqb3579ay.html>

3 28 <https://www.patsnap.com/benchmark/>

<https://www.patsnap.com/benchmark/>

4 65 <https://www.anthropic.com/product/claude-code>

<https://www.anthropic.com/product/claude-code>

- 5 <https://manus.im/docs/integrations/manus-api>  
<https://manus.im/docs/integrations/manus-api>
- 6 14 <https://manus.im/docs/integrations/integrations>  
<https://manus.im/docs/integrations/integrations>
- 8 30 54 61 <https://eureka.patsnap.com/pricing>  
<https://eureka.patsnap.com/pricing>
- 9 48 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000354.000031052.html>  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000354.000031052.html>
- 10 33 <https://www.lexisnexisip.jp/resources/ngk-classification-use-case/>  
<https://www.lexisnexisip.jp/resources/ngk-classification-use-case/>
- 12 50 <https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/74798653019de35f.html>  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/74798653019de35f.html>
- 15 <https://manus.im/docs/ja/integrations/slack-integration>  
<https://manus.im/docs/ja/integrations/slack-integration>
- 16 18 <https://manus.im/docs/introduction/plans>  
<https://manus.im/docs/introduction/plans>
- 17 20 <https://help.manus.im/en/articles/11711111-what-is-the-current-membership-pricing-for-manus>  
<https://help.manus.im/en/articles/11711111-what-is-the-current-membership-pricing-for-manus>
- 19 49 64 <https://manus.im/blog/manus-joins-meta-for-next-era-of-innovation>  
<https://manus.im/blog/manus-joins-meta-for-next-era-of-innovation>
- 21 25 <https://code.claude.com/docs/en/security>  
<https://code.claude.com/docs/en/security>
- 22 23 <https://claude.com/pricing>  
<https://claude.com/pricing>
- 24 <https://code.claude.com/docs/en/data-usage>  
<https://code.claude.com/docs/en/data-usage>
- 26 <https://privacy.claude.com/en/articles/7996868-is-my-data-used-for-model-training>  
<https://privacy.claude.com/en/articles/7996868-is-my-data-used-for-model-training>
- 27 <https://confluence.wipo.int/confluence/download/attachments/1640665080/Topic%2013%20-%20Commercial%20IP%20Database%20Platforms%20Features%2C%20Services%2C%20and%20Business%20Applications%20Patsnap.pdf?api=v2&modificationDate=1746613249866&version=1>  
<https://confluence.wipo.int/confluence/download/attachments/1640665080/Topic%2013%20-%20Commercial%20IP%20Database%20Platforms%20Features%2C%20Services%2C%20and%20Business%20Applications%20-%20Patsnap.pdf?api=v2&modificationDate=1746613249866&version=1>
- 29 <https://www.rdworltonline.com/hands-on-with-patsnaps-eureka-scout-strong-features-meet-evolving-ai-backbone/>  
<https://www.rdworltonline.com/hands-on-with-patsnaps-eureka-scout-strong-features-meet-evolving-ai-backbone/>
- 32 47 52 57 <https://www.lexisnexisip.com/solutions/ip-analytics-and-intelligence/cipher-classification/cipher-platform/>  
<https://www.lexisnexisip.com/solutions/ip-analytics-and-intelligence/cipher-classification/cipher-platform/>
- 34 35 <https://www.ambercite.com/>  
<https://www.ambercite.com/>

36 37 <https://www.ambercite.com/amberblog/46-percent-improvement-search-quality-independent-study>

<https://www.ambercite.com/amberblog/46-percent-improvement-search-quality-independent-study>

38 <https://www.ambercite.com/ipw-bluhikers-pr>

<https://www.ambercite.com/ipw-bluhikers-pr>

39 <https://www.ambercite.com/pricing>

<https://www.ambercite.com/pricing>

40 42 46 <https://patentpal.com/>

<https://patentpal.com/>

41 <https://www.lexology.com/library/detail.aspx?g=0ad2fc1e-e889-40b4-938b-3e794dde276f>

<https://www.lexology.com/library/detail.aspx?g=0ad2fc1e-e889-40b4-938b-3e794dde276f>

43 <https://blog.patentext.com/blog-posts/best-ai-patent-drafting-tools>

<https://blog.patentext.com/blog-posts/best-ai-patent-drafting-tools>

51 <https://www.reuters.com/world/china/meta-acquire-chinese-startup-manus-boost-advanced-ai-features-2025-12-29/>

<https://www.reuters.com/world/china/meta-acquire-chinese-startup-manus-boost-advanced-ai-features-2025-12-29/>

53 <https://www.jpo.go.jp/support/general/open-innovation-portal/index.html>

<https://www.jpo.go.jp/support/general/open-innovation-portal/index.html>

55 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000081.000036601.html>

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000081.000036601.html>

60 [https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/chiteki\\_zaisan/fusei\\_kyoso/pdf/026\\_04\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/chiteki_zaisan/fusei_kyoso/pdf/026_04_00.pdf)

[https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/chiteki\\_zaisan/fusei\\_kyoso/pdf/026\\_04\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/chiteki_zaisan/fusei_kyoso/pdf/026_04_00.pdf)

62 [https://www.wipo.int/edocs/pubdocs/en/wipo\\_pub\\_946.pdf](https://www.wipo.int/edocs/pubdocs/en/wipo_pub_946.pdf)

[https://www.wipo.int/edocs/pubdocs/en/wipo\\_pub\\_946.pdf](https://www.wipo.int/edocs/pubdocs/en/wipo_pub_946.pdf)

63 <https://manus.im/security>

<https://manus.im/security>